

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392300071
事業所名	グループホーム ねこの手

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し回覧板で情報を得ている。コロナ禍により地域の敬老会の行事や盆踊りなどは踏み留まっているが、町内の清掃や神事の協賛などできる事を模索しながら地域の一員として交流の継続に努めている。また、民生委員から地域の情報を聞いたり、季節の野菜の差し入れを頂いたり、散歩や職員の通勤時に地域の方と挨拶を交わすなど、ほのぼのとした交流を続けている。ハーモニカのボランティアを受け入れ、少人数で参加し楽しみに繋げている。看護学校の実習生を受け入れ地域に貢献している。状況を確認しながら1階の小規模多機能型居宅介護事業所と合同で家族を交えての秋祭りや瀬戸蔵のひな祭り、紅葉や桜の花見などの再開を予定し心待ちにしている。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族や地域代表、民生委員、地域包括支援センターや市職員の参加を得て小規模と合同で状況を確認しながら臨機応変に年6回、対面や文書での開催をしている。関係者からはメールで意見や助言を聴取している。事業所の運営状況や活動内容の報告と合わせ、身体拘束適正化委員会を同時に開催している。参加者からの意見や提案等はその場で話し合ったり、記録して職員会議などで協議しサービスの向上に活かしている。議事録は市のホームページで公表している。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議に市や地域包括支援センターや市職員が参加し情報やアドバイスを得ている。認定書類や申請の代行などで役所へ外向き報告や相談、サービスの内容などを伝えている。また、法令に関する変更事項の指導を受けるなど良好な協力関係を築いている。市主催の研修会の開催はコロナ禍により留まっているが、リモートでの研修があれば職員に紹介し参加をしている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き意見や要望などは、申し送りノートに記録してカンファレンスで検討し、情報を共有して運営に反映させている。家族からは面会や介護計画の更新時などの折に意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立っている。来所の難しい家族には電話で意見や要望を聞いたり毎月の請求書に近況報告を同封するなどして理解を得ている。「ねこの手通信」には行事の様子や日々の暮らしのコメントと写真を載せて家族に安心を届けている。意見箱を設置して意見を述べやすい環境を整えている。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	◎

【備考欄】

面会は予約不要で居室で行うようになり、終末期にある入居者に友人が面会に訪れ、ひと時旧交を深められるなど、今できる最善のケアに心がけている。アフターコロナとなり、家族とは感染予防に配慮しながら外出や食事をする機会が再開されたが、事業所として今まで足踏みをしていた買い物や外出、地域行事への参加などを状況を確認しながら再開をして行く方向にある。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	—	—	○	○	○	○	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							